

BOATMEN

NPO法人 石川県小型船安全協会会報「ボートメン」 22号 (2010年12月発行号) Vol. **22**

トピックス …小松、加賀で漁業者捜索、ざぶん賞2010表彰式
活動報告……マリンレジャー安全旬間出動式、海難訓練、夏のイベント など
行政から……金沢・七尾海上保安部着任のご挨拶

ざぶん賞受賞作品◎ ポートマンズエッセイ・ありがとう! ぼくの海

小松、加賀で不明者捜索。

3月14日 小松安宅沖にて小松マリクラブ救助チームが釣り人不明者を捜索。

3月14日午後8時頃、小松市草野海岸消波ブロックで釣りが行方不明となりました。小松マリクラブはその情報を受けて捜索に加わりました。翌日15日も午前6時から再度捜索を開始したところ午前6時20分に防波堤の中で釣り人の足部を発見しました。その後海上保安部、および消防に連絡されました。

5月28日 加賀の漁業者不明に加南支部メンバーが捜索協力。小松マリクラブが1名を発見。

5月28日午後5時50分頃、海上保安部から当会加南支部の各クラブに「橋立漁港を出港した漁船が定刻を過ぎても帰港していない」との通報がありました。これを受けて各クラブがあたりを捜索したところ、小松マリクラブが安宅沖でそれらしい漁船を認め保安部に通報しました。

その後の保安部の調査により橋立漁港から出港した漁船乗組員2名が行方不明になっていることが判明。翌日午前5時30分から小松マリクラブ海難救助部も加わり捜索が行われました。

翌29日は波が高く、陸上捜索のみで発見に至らず、翌30日も同マリクラブの救助船5隻が捜索に参加。その結果漁船が発見された南側海域でマリクラブ救助船の引くスバリに遺体がかかり、行方不明者の1名であることが確認されました。31日も捜索しましたが、残り1名の手がかりなく、午後零時に捜索を終了しました。

その後6月5日には加賀マリクラブ64名が橋立沖で、再度捜索しましたが、残念ながら発見に至りませんでした。



ぎぶん賞2010表彰式開催。

11月27日 金沢で表彰式、記念イベント開催

当会が共催しているぎぶん賞は今年9回目を迎え、表彰式が、金沢市のエクセル東急ホテルにて開催されました。今回は全国の小中学生から過去最高の6,084作品の応募がありました。石川県からも約800作品が集まりました。全国表彰と石川県地区表彰に選ばれた皆様が招かれ、約180名が参加しました。

式では、会長の月尾嘉男氏(東京大学名誉教授)があいさつ、続いて顧問の馳 浩氏(第1回目実行委員会会長)が歓迎のあいさつを行い、その後各入選者に順に壇上で賞が授与されました。石川県内の入選者には、石川県知事賞、石川県教育委員会賞、金沢市長賞、うみまる賞(金沢、七尾両海上保安部長表彰)がそれぞれ渡されました。

式の後、月尾嘉男氏による講演「生命の水、地球の水」が、また入賞作品展が石川県四校記念文学館にて行われました。



能登島シーカヤック大会に協力。

10月2、3日 月尾嘉男氏を招いてイベント開催

七尾市で開催されたシーカヤック能登島フェスティバルに能登支部が協力。環境問題などに提言されている月尾嘉男氏(東京大学名誉教授)も参加され、能登島周囲のコースで盛大に行われました。

能登半島地震の復興を祈念して、2007年4月にシーカヤックのスペシャリストでもある月尾氏が七尾湾(中島から穴水まで)をカヌーで走行されたことを機に交流が始まり、昨年は能登島一周イベントを開催。今年は全国から愛好者も参加し、月尾さんとともにカヤックを楽しみました。

コースも初心者向け10kmと上級者向け25kmに分けて実施。七尾湾と海から見る能登島の神秘的な魅力を皆さんで堪能いたしました。

地元の能登島の皆さんも前夜祭からレース終了まで参加者を歓迎し、ご協力いただきました。



マリンレジャー安全推進旬間出動式。

4月24日 七尾港で(能登支部)

4月29日 金沢港で(金沢支部)

能登支部では能登水難救済会、七尾海上保安部とともに、マリンレジャー安全推進旬間における出動式、および海難訓練を実施しました。

七尾市、穴水町のメンバー合同での開催となり、会員53名が参加しました。七尾海上保安部巡視船「はまゆき」の一日船長と海上保安官に任命され、湾内で安全指導を行いました。

訓練は第9管区本部海上保安本部のヘリコプター「らいちょう」も参加。曳航、人命救助など一連の訓練を行いました。

金沢支部でも金沢海上保安部の協力のもと出動式を実施しました。



活動報告

総会開催。22年度の計画が承認。

2月21日 志賀町で

総会は、会員、および来賓の皆様、計80名が出席され、羽咋支部の協力により、志賀町で開催されました。今年も、安全活動、環境保全、文化創造に関する事業計画が立案、承認されました。

議案審議では、本年度も引き続き安全指導、パトロールの活動強化、ライフジャケットの着用徹底を県内各地で行うこと、係留保管場所整備、マリンスポーツ振興事業、文化創造事業の実施が承認されました。最後に金沢海上保安部次長の田島氏より、ご挨拶を頂戴し閉会しました。

金沢で合同安全パトロール実施

6月26日 金石大野・内灘

金沢支部では、合同安全パトロールを実施しました。金沢海上保安部の指導のもと、会員26名、安全パトロール艇4隻と海上保安部が参加、海上、陸上双方から各班に分かれ、行動しました。特にライフジャケットの着用徹底、ゴミの持ち帰りなどを中心に、約40名に指導しました。

各地で合同安全訓練、講習会を実施

6月6日 小松安宅沖

加南支部(小松マリンクラブ、手取会)と小松美川救難所の合同海難訓練を実施しました。金沢海上保安部、小松消防署ら関係団体の協力の下、会員40名、約20隻が参加、陸上に設置した本部艇の指示のもと、海上で行方不明者捜索、海中転落者救助、発炎筒点火等の訓練を実施しました。

6月12日 羽咋滝港

滝港にて羽咋支部、羽咋マリンクラブは、羽咋救難所との合同の海難訓練に参加しました。海上保安部員の指導のもと、訓練を行いました。会員35名が曳航訓練・発炎筒点火訓練などを実施しました。

7月29日 輪島沖、8月29日 珠洲沖

輪島、珠洲地区でもそれぞれ訓練を実施しました。輪島では約38名が参加。珠洲では22名が参加しました。

その他加賀マリンクラブなど各地で、海上保安部の協力を得て安全講習会を開催しました。



海上指導員講習会を開催

金沢支部 4月6日、能登支部 12月5日

各地で海上安全指導員の講習会を開催しました。

夏のイベントを開催。

ボート天国・マリンスポーツチャレンジデー
7月20日 七尾港

恒例となった七尾港の体験航海が開催されました。今回はボートフィッシングも実施。約350名の多くのご家族や子供たちがボートを体験しました。

七尾マリン協会、雌島クラブ、七尾セーリング協会が協力しました。



親子ふれあいボートフィッシング大会

7月25日 小松、美川

今年も小松、美川で、親子を対象としたボートフィッシング大会が開催されました。

約50組の親子が参加し、きす釣りなど体験しました。

手取会では後日体験航海も開催され、多くのご家族や子供たちがボートを体験しました。



クリーンビーチに参加

金沢支部 5月30日、加南支部 7月10日

今年もクリーンビーチに協力し、金沢は大野、金石、小松安宅、手取川を清掃しました。

トライアスロン珠洲大会に今年も協力

8月26日 珠洲 鉢ヶ崎

トライアスロン珠洲大会に、今年も長浜マリン協会の皆様、スイムの海上安全において協力いたしました。メンバー15人(隻)がボートを提供し、各配置にて監視しました。

ポート天国（七尾市）



マリンレジャー安全推進旬間出動式（七尾市）



親子ふれあいポートフィッシング大会（小松市、白山市）



総会



編集後記 日本には海岸線の長さが100メートル以上の島が6,832あるそうです。その内人が住んでいるのは約400で、あとは無人島です。それだけ領海が多く海洋資源に恵まれています。また、空から見ると緑に覆われたわが国は、真水の宝庫でもあります。国民がそのことにどれだけ関心があるのでしょうか。「地下資源に頼った産業構造に限界、これからは循環型だ、その技術は日本が有利」とか言いますが、いまだに古い経済活動の体質から脱却できないのかも知れません。おそらく他国の人は日本人の数倍、この日本の資源をうらやましく思っているのではないのでしょうか。早くこれらに気づき、次代の子供たちにしっかり伝え残すことは最優先課題であるはず。そのためのわれわれの使命は微力ながらもあつたのではないのでしょうか